

## 2019年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月12日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5967 URL https://tonetool.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松村 昌造  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 井上 昌良 TEL 06-6649-5967  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績（2018年6月1日～2019年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	4,055	4.8	596	△4.6	639	△0.6	439	△4.3
2018年5月期第3四半期	3,870	1.9	626	22.5	643	21.2	458	33.1

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 410百万円 (△22.0%) 2018年5月期第3四半期 525百万円 (24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	212.43	—
2018年5月期第3四半期	222.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	7,639	6,094	79.8
2018年5月期	7,733	5,791	74.9

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 6,094百万円 2018年5月期 5,791百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	—	—	70.00	70.00
2019年5月期	—	—	—	—	—
2019年5月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年5月期期末配当金の内訳 普通配当60円 記念配当10円（設立80周年記念配当）

### 3. 平成31年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,390	4.4	1,020	△9.5	1,030	△10.7	720	△10.8	348.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期3Q	2,342,600株	2018年5月期	2,342,600株
② 期末自己株式数	2019年5月期3Q	268,634株	2018年5月期	282,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期3Q	2,067,134株	2018年5月期3Q	2,060,542株

（注）2017年12月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速化など世界経済の不確実性は継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくなくてはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、お客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、「締付」をキーワードとした幅広い製品群の開発・製造・販売を推進し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

また、デザインを一新した「次世代工具シリーズ」を中心とした80周年にふさわしい魅力ある販売促進活動を展開するとともに、主力製品「シヤーレンチ」製品群及び充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売強化に努めました。

併せて、ボルト締結に重要な役割を果たす「トルク管理」製品群など、競争優位性の高い製品群の拡張に加え、お客様要望に応えた特殊品対応を行うことによる市場ニーズの把握、新規市場開拓を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

さらに、「TONEブランド戦略」として、引き続きモータースポーツの応援やレーサーサポート、レース協賛などを積極的に展開することにより、より多くの人々に「TONEブランド」の魅力を伝えるとともに、現場の要望を研究・開発に活かした企画・新製品を展開するなど、新たなTONEの可能性を追求してまいりました。

その結果、作業工具類の売上高は、24億2千7百万円となりました。機器類の売上高は、国内建築土木関連における計画のずれ込みなど弱含みもあり、16億2千7百万円となりました。従いまして、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は40億5千5百万円（前年同期比4.8%増）となりました。また、利益面では営業利益は5億9千6百万円（前年同期比4.6%減）、経常利益は6億3千9百万円（前年同期比0.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億3千9百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

各セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

## (西日本)

個別ユーザー向けに特殊品を提案することで多くの大口受注を獲得し、更に当社独自の提案営業を行いました。またモータースポーツ応援活動でのブランドPRの効果もあり自動車関連の新規獲得の実績も上がりました。その結果、売上高は、15億8千5百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は2億6千1百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

## (東日本)

東京五輪特需は予測以下でありましたが、新製品・トルク管理機器・エアーツールの販売と新規ルートの拡大を中心に取組みを実施いたしました。その中でもトルクレンチのマーケット拡大で販売店との取組みを強化し様々な企画提案を行いました。その結果、売上高は、17億7百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は2億4百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

## (海外)

欧米、中国等の経済成長の減速感はあるものの新たな代理店の獲得や販売ルートの開拓で新たなマーケットへの取組みを行いました、また欧州、中東、アフリカにおける新規開拓に注力し売上を積み上げました。その結果、売上高は、7億6千2百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は1億3千1百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

資産合計は76億3千9百万円となり前連結会計年度末に比べ9千4百万円減少しました。この主な要因は、商品及び製品の増加2億6千5百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億1千1百万円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少5億7百万円等によるものであります。

## (負債)

負債合計は15億4千4百万円となり前連結会計年度末に比べ3億9千7百万円減少しました。この主な要因は、繰延税金負債の増加3千3百万円等がありましたが、未払法人税等の減少1億6千2百万円、賞与引当金の減少5千7百万円、長期借入金の減少5千万円等によるものであります。

## (純資産)

純資産合計は60億9千4百万円となり前連結会計年度末に比べ3億3百万円増加しました。この主な要因は、剰余金の配当1億4千4百万円、その他有価証券評価差額金の減少2千6百万円等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益4億3千9百万円の計上等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の業績予想につきましては、2018年7月12日に公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	514,589	514,332
受取手形及び売掛金	1,796,478	1,288,694
商品及び製品	1,274,003	1,539,603
仕掛品	435,872	468,560
原材料及び貯蔵品	765,225	877,005
その他	36,948	67,697
貸倒引当金	△5,730	△4,303
流動資産合計	4,817,387	4,751,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	592,869	590,189
機械装置及び運搬具(純額)	128,486	119,915
工具、器具及び備品(純額)	22,489	20,213
土地	1,037,256	1,049,256
リース資産(純額)	12,982	7,134
建設仮勘定	26,114	21,609
有形固定資産合計	1,820,198	1,808,320
無形固定資産		
リース資産	4,266	2,483
その他	48,920	40,810
無形固定資産合計	53,186	43,294
投資その他の資産		
投資有価証券	773,050	738,403
その他	269,767	297,855
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,042,817	1,036,258
固定資産合計	2,916,202	2,887,872
資産合計	7,733,590	7,639,462

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	627,488	593,715
短期借入金	440,467	417,160
リース債務	15,402	3,635
未払法人税等	170,685	7,846
賞与引当金	101,452	44,307
未払金	142,208	126,326
未払費用	53,136	36,139
その他	39,137	14,511
流動負債合計	1,589,978	1,243,642
固定負債		
長期借入金	101,460	51,190
リース債務	2,585	6,251
繰延税金負債	115,945	149,003
退職給付に係る負債	109,279	79,616
資産除去債務	3,780	3,780
長期未払金	16,628	8,636
その他	2,700	2,800
固定負債合計	352,378	301,277
負債合計	1,942,356	1,544,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	182,998
利益剰余金	5,040,676	5,335,249
自己株式	△372,572	△354,610
株主資本合計	5,436,483	5,768,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353,514	326,731
為替換算調整勘定	1,234	△826
その他の包括利益累計額合計	354,749	325,904
純資産合計	5,791,233	6,094,542
負債純資産合計	7,733,590	7,639,462

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2017年 6 月 1 日 至 2018年 2 月 28 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 6 月 1 日 至 2019年 2 月 28 日)
売上高	3,870,705	4,055,074
売上原価	2,244,029	2,344,355
売上総利益	1,626,675	1,710,718
販売費及び一般管理費	1,000,654	1,113,758
営業利益	626,021	596,959
営業外収益		
受取利息	624	1,344
受取配当金	19,376	21,537
投資有価証券売却益	—	200
為替差益	—	14,806
その他	9,689	5,600
営業外収益合計	29,689	43,489
営業外費用		
支払利息	1,403	326
為替差損	10,072	—
その他	535	388
営業外費用合計	12,010	715
経常利益	643,699	639,733
税金等調整前四半期純利益	643,699	639,733
法人税、住民税及び事業税	154,799	159,739
法人税等調整額	30,253	40,871
法人税等合計	185,052	200,610
四半期純利益	458,647	439,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	458,647	439,122



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	458,647	439,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,087	△26,783
為替換算調整勘定	7,990	△2,061
その他の包括利益合計	67,077	△28,844
四半期包括利益	525,724	410,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	525,724	410,278
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

① 前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,594,950	1,574,528	701,226	3,870,705	—	3,870,705
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,021	—	—	2,021	△2,021	—
計	1,596,972	1,574,528	701,226	3,872,726	△2,021	3,870,705
セグメント利益	282,225	215,741	128,884	626,851	△830	626,021

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,585,182	1,707,532	762,358	4,055,074	—	4,055,074
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,269	—	—	2,269	△2,269	—
計	1,587,452	1,707,532	762,358	4,057,343	△2,269	4,055,074
セグメント利益	261,793	204,680	131,856	598,330	△1,370	596,959

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (重要な後発事象)

当社は、2019年1月11日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の譲渡を決議し、2019年3月12日付  
 けで契約締結いたしました。

## 1 譲渡の理由

経営資源の有効活用を図るため。

## 2 譲渡資産の内容

資産の名称	東京営業所
資産の内容	土地 225.71㎡ 建物 247.42㎡
資産の所在地	東京都渋谷区

## 3 譲渡する相手先の概要

譲渡先は国内の一般事業会社ですが、守秘義務の観点から譲渡価額、帳簿価額および譲渡先の概要については開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社グループとの間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者への該当状況に関し、特筆すべき事項はございません。

## 4 譲渡の日程

取締役会決議日	2019年1月11日
契約締結日	2019年3月12日
物件引渡期日	2019年5月(予定)

## 5 損益に及ぼす重要な影響

当該固定資産の売却により、当連結会計年度において固定資産売却益291百万円(概算)を特別利益として計上する予定です。